

日刊 動労千葉

84. 6. 28
No. 1676

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二二七二〇七

人倒根中 幕張支部定期委

幕張支部は、六月二十一日、定期委員会を開催し、夏から秋にむけての闘う方針を確定しました。

反トマホーク・三里塚―国鉄決戦にうつて出よう

委員会は、まず秋葉副支部長の開会宣言をうけ、議長に山本支部検査分科会長を選出し、テキパキした議事運営で会場もひきまざるなか、白井支部長が、半年間の奮闘への敬意と今後の闘いへの決意を述べました。

本部からは水野副委員長と林特執が出席され、代表して水野副委員長より力強いアピールをうけました。そのなかで『・・・全組合員の結束をさらにうち固め、悪の根源に反動中曾根内閣打倒にうつてよう』と強調され、全出席者が拍手でこれを確認し、夏から秋への反撃を決意しました。闘いへの気運が盛りあがるなか「活動方針」と「暫定予算」が滝口書記長と石幡書記次長から提起されました。

「方針」の中では、特に夏から秋にむけて、国鉄決戦と反トマホーク闘争を三里塚と一体のものとして闘い、中曾根打倒の大きな力を形成してゆくこと、そして、これらの闘いは、動労「本部」革マル打倒・一掃の全国的な闘いを強めていくなかに勝利の大きな展望があること等が強調されました。

真剣な討論を経て、闘う方針を確定

出された主な意見は、
① 故・平野運転士事故にかんがみ毎月30日を安全運転（作業）行動実施とする方針に賛成であ

幕張支部通信員・発



60・3大合理化を粉碎する強固な岩を築こう。

るが具体的にはどう取り進むか討議を深めたい。（检修）

② 今回の運転士科試験について、当局に試験を実施させたことは大きく評価できる。しかし、当局が自らつくった「予科制度」について、それに反するような事を今になって押しつけてくるのは問題であり、われわれの要求を実現させていかなければならない。（検査）

③ 運転检修について、所属する分科会を明確にするべきではないか。（检修）
などが出され、水野副委員長と白井支部長の答弁を経て、満場一致で方針を決定しました。最後に真藤副支部長が、「情勢は極めて厳しいものがあるが、闘う団結を固め、展望を切り拓いていこう」と訴え、委員会を成功裡に終了しました。

当面するスケジュール

- 6月29日・第1回検修合理化対策委員会 10時 動力車会館
- 6月30日・第3回労働学校 13時 動力車会館
- 7月3日・サークル協ソフトボール大会 天台軟式野球場 9時
- 7月4日・第3回「6・12公判」東京高裁 11時
- 〃 第12回「81・3公判」千葉地裁 13時
- 7月5日・サークル協野球大会 更科球場 9時
- 7月6日・サークル協卓球大会 9時 公園体育館
- 6/7日・青年部活動者会議
- 7月9日・第18回「中江公判」東京地裁 13時
- 7月10日・第12回「サンケイ公判」13時30分 東京地裁 13時30分
- 7月10日・第5回構運分科定期委員会 10時 動力車会館